

# Q&A みなさんからの質問にお答えします



平和を、仕事にする。



学校などでの説明会で、出席者からいただいた質問事項についてご紹介します。  
受験を検討中のみなさんも、参考にしてください。

Q 文系の高校3年生です。防大の受験を検討しています。防大の受験時のみ、文系に比して採用数の多い理系で受験しようと考えていますがどうでしょうか？

A 防大受験限定の一時的な理系転向ということですが、物理Ⅱや数学Ⅲなどの学習状況はいかがですか？ あなたが物理Ⅱや数学Ⅲなどの学習が不十分と感じているならば、一時的な理系転向での防大受験は入校後の教育への影響を考慮すると、お勧めしません。  
募集要項にも注意書きがありますが、物理Ⅱや数学Ⅲなどを十分に学習しない状況で入学した場合、授業での多くの苦勞が予期されます。

Q 防衛医大看護学科(自衛官コース)の受験を検討しています。将来、自衛官として海外の被災地などで医療活動に従事したいです。医官・看護官以外で海外での医療活動に従事できますか？

A 海外の医療活動は、国家資格を有する医官・看護官(准看護官を含む)のみが実施中です。一般の曹士として入隊後に准看護官となることも可能ですが、受験段階では防衛医大看護学科の受験をお勧めします。

Q 現在の裸眼視力が0.1未満です。募集要項には「裸眼視力0.1未満は屈折度測定により評価する」とありますが、**屈折度測定を自衛隊病院で事前に測定**することはできますか？

A **福岡病院の眼科で検診を受けることが可能です**。費用は約4000円(診断書を請求すると+1000円)です。保険は適用されずに、10割負担となります。また、**自衛隊以外の病院の眼科でも検診可能**だそうです。

ただし、**病院での事前の検診結果は採用試験へは適用されません**。ご自身の参考として検診を受けてください。

Q 将来幹部自衛官になりたいです。幹部自衛官の**勤務地は自分の希望通り**になりますか？

A 勤務地の希望調査は定期的に行われます。**本人の希望を考慮しつつ、人事担当者が組織全体の中で個々に最適の勤務地を決定**します。

幹部自衛官は異動が多い職業ではありますが日本全国様々な土地での勤務は、新しい出会いや発見があり貴重な体験であると思います。

それぞれの土地の旬を楽しんでください。

Q 航空学生の受験希望者です。**航空自衛隊の航空学生と海上自衛隊の航空学生の併願**はできますか？

A **航空自衛隊の航空学生と海上自衛隊の航空学生の併願はできます**。むしろ、福岡地本としては**併願をお勧め**します。なぜ併願をお勧めするかというと、試験の過程で「航空自衛隊の航空学生としては駄目だけど、海上自衛隊の航空学生としてならばOK！」ということで合格できる可能性があるからです。

昨年度も航空自衛隊が第一希望でしたが海上自衛隊での合格となり、現在、小月の教育隊で頑張っている先輩もいます。将来の選択肢を広げる意味でも是非併願で受験してください。

Q 防大の「推薦試験」「総合選抜試験」の違いは何ですか？

A 「推薦試験」と「総合選抜試験」の違いは、一言で言うと防大が求める受験生の能力です。「推薦試験」の場合、主に受験生に求められるものは学業成績です。成績票全体の評定平均値が4.0以上であることが必要となります。また、高校の校長先生からの推薦書が必要です。

一方の「総合選抜試験」で求められるものは、ボランティアなどの社会活動・スポーツでの顕著な成績、各種の資格や数学オリンピック出場など特定の種目で秀でた成績を納めた方で、それらの能力や経験を公共善のために活かす意志と実践的な知恵や知的能力です。総合選抜試験では、高校での学業成績や校長先生からの推薦書は不問・不要です。

また、防大が求める受験生の能力が異なるので、試験の方法も異なります。推薦試験の場合、学力試験と口述試験そして身体検査が2日間で行われます。総合選抜試験の場合、第1次試験で学力試験が行われます。それに合格すると第2次試験となるのですが、第2次試験は防大内の施設に宿泊していただき、小グループでの問題解決能力など実践的な知恵や能力が問われます。

どちらも受験生個々の能力を発揮していただくのに魅力的な制度だと思います。特に総合選抜試験は幅広い分野での活動に対応しています。「この成績ではどう？」「この資格は？」などお気軽にお問い合わせください。